

幕別町 令和８年度 アイヌ政策推進交付金事業計画 変更内訳

1 今回の変更事業

- (2) 地域・産業振興事業
 - ・アイヌ文化情報発信事業
- (3) コミュニティ活動支援事業
 - ・アイヌ文化拠点空間整備事業

2 変更内容

- (2) 地域・産業振興事業
 - ・アイヌ文化情報発信事業（変更）
アイヌ文化サミット出展に伴う事業費の増額を行った。
- (3) コミュニティ活動支援事業
 - ・アイヌ文化拠点空間整備事業
外構工事、アイヌ研修室鍵取付工事の追加に伴う事業費の増額を行った。

3 変更増減額

- (2) 地域・産業振興事業
 - ・アイヌ文化情報発信事業（変更）
34 千円（事業費）の増 （3,197 千円 → 3,231 千円）
- (3) コミュニティ活動支援事業
 - ・アイヌ文化拠点空間整備事業
2,455 千円（事業費）の増 （70,670 千円 → 73,125 千円）

4 事業計画変更箇所

「８ 収支予算」、「９ 経費の配分」及び「別表１ 収支計画書」において、上記３の変更増減額に関する必要な金額の修正を行った。

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	幕別町アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	文化振興事業 / 地域・産業振興事業 / コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	アイヌ文化等の次世代への継承を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目的とする。
4 事業の概要	(1) 文化振興事業 ■アイヌ文化伝承活動支援事業 ○事業実施主体 幕別町 ○事業の実施場所 多機能型交流施設 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 伝統的なアイヌ文化や生活の場を再生・支援するため、アイヌ対象の儀式伝承講座や有用植物の栽培を行うなど、アイヌ文化の継承を永続的に行うための環境や素材を整えるとともに、アットウシ織りなどの技術を本町のアイヌ団体が復興する活動を支援する。 ■アイヌ文化普及啓発事業 ○事業実施主体 幕別町 ○事業の実施場所 多機能型交流施設、町内各所 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 アイヌ文化に対する参加者の理解を深めるような各種行事を開催し、幕別を中心としたアイヌの歴史や文化の普及促進を図る。 (2) 地域・産業振興事業 ■アイヌ文化情報発信事業 ○事業実施主体 幕別町 ○事業の実施場所 多機能型交流施設 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 アイヌ文化に関する展示会を開催し、また、各種印刷物(多機能型交流施設PR リフレット)、多機能型交流施設ホームページを作製、公開するなど様々な年齢層へ向けて情報を発信することで、町民が日常的にアイヌ文化に触れつつ、その理解を深めること、町内外の方々に対して幕別町のアイヌ事業をPRすることを目的とする。

	(3) コミュニティ活動支援事業 ■アイヌ文化拠点空間整備事業 ○事業実施主体 幕別町 ○事業の実施場所 多機能型交流施設 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 老朽化している千住生活館を解体して、伝承室を有する多機能型交流施設を整備し、さらに、蝦夷文化考古館を保存改修しつつ展示資料も修復や複製をして管理することによって当該地をアイヌ文化の拠点とし、アイヌの人々と地域の方々との交流促進やコミュニティ活動の拡大を図る。 ・多機能型交流施設外構工事 ・多機能型交流施設展示館棟展示工事 ・多機能型交流施設完成式 ・多機能型交流施設備品設置 ・蝦夷文化考古館資料搬送 ■アイヌ文化学習推進事業 ○事業実施主体 幕別町 ○事業の実施場所 多機能型交流施設 ○事業の実施期間 交付決定の日～令和9年3月 ○事業の内容と考え方 小学生へアイヌ語やアイヌ文化を題材とした公営塾で学習支援を行うことにより、アイヌ語の学習を通して民族の精神を、体験学習を通してアイヌ文化への理解をそれぞれ養う。
5 アイヌ施策推進地域計画における記載	4-1 アイヌ文化の保存又は継承に資する事業 ■アイヌ文化伝承活動支援事業 ・チセの建設や有用植物の栽培、アイヌ文化伝承講座を行うなど、アイヌ文化の伝承活動に必要な環境整備や人材育成を行う。 4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業 ■アイヌ文化普及啓発事業 ・幕別・十勝のアイヌ文化に関連する行事や学校への出前授業を行う。 ・多機能型交流施設にコーディネーターを配置し、アイヌ民族の視点から各事業内容の企画とブラッシュアップを行い、近隣市町のアイヌ協会とも連携してアイヌ文化の普及促進を図る。 4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業 ■アイヌ文化情報発信事業 ・多機能型交流施設の周知やアイヌ文化の振興及び普及啓発のため、多機能型交流施設のリーフレットの印刷・配布等を行う。 4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業 ■アイヌ文化拠点空間整備事業 ・老朽化した千住生活館を解体し、伝承室を有する多機能型交流施設(生活館棟、展示館棟)を整備するとともに、隣接する蝦夷文化考古館の保存改修や、展示・収蔵資料の修復など展示機能の充実を図り、空間全体をアイヌ文化の情報発信・交流拠点として整備する。

	■アイヌ文化学習推進事業 ・アイヌ民族の子どもを含む小学生を対象に、アイヌ語とアイヌ文化などを題材とした公営塾を開設し学習支援を行う。
6 事業の成果目標等	
(1)成果目標の達成に向けた工程	(1) 文化振興事業 ■アイヌ文化伝承活動支援事業 儀式やアットゥシ織りの技術の伝承と有用植物の栽培などの文化の継承によって、次世代におけるアイヌ文化への理解を深め、アイヌの人々が誇りを持って生活することができる社会の実現を図ることができると考えられる。 ■アイヌ文化普及啓発事業 子ども達や地域の人々がアイヌ文化を体験することによって、伝統文化等に対する町民理解の促進を図ることができ、町民による継続的なアイヌ文化普及啓発事業への参加が想定される。 (2) 地域・産業振興事業 ■アイヌ文化情報発信事業 本町のアイヌの歴史や文化について、展示会をや様々な媒体を通して情報をより分かりやすく広く発信することで、地域社会におけるアイヌ文化の理解や振興が広がることが想定される。 (3) コミュニティ活動支援事業 ■アイヌ文化拠点空間整備事業 アイヌの人々のコミュニティ活動を支援し、民族としての誇りが尊重される地域社会の実現を目指すための根幹となる事業であり、新たに多機能型交流施設を整備することで、アイヌ高齢者のコミュニティ活動の支援につながるとともに、活動環境が改善されることにより、アイヌの人々の利用や地域の人々との交流の機会が増えると考えられる。交流のベースとなる伝承室においては、祭祀の意見を反映させた儀式を行うことのできる祭壇や囲炉裏を整備し、また、来館者のガイダンスルームとしての役割を果たす。施設の利用者が快適に使用できる環境を整えるとともに、アイヌ様式の完成式の実施により、広く利用を呼び掛ける。 ■アイヌ文化学習推進事業 小学生へアイヌ語やアイヌ文化を題材とした公営塾で学習支援を行うことにより、アイヌ文化への理解や多機能型交流施設の利用につながるとともに、学びの機会を設け、学習習慣と学力の向上を図ることにより、アイヌの人々が誇りを持って生活することができる社会の実現を図ることができると考えられる。
(2) 成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	(1) 文化振興事業 ■アイヌ文化伝承活動支援事業 ・伝承講座、体験講座参加者数 (現 状 値)令和4年度 26 人/年間 (中間目標)令和6年度 30 人/年間 (最終目標)令和8年度 80 人/年間 ■アイヌ文化普及啓発事業 ・講座等参加者数 (現 状 値)令和4年度 132 人/年間 (中間目標)令和6年度 120 人/年間 (最終目標)令和8年度 280 人/年間 (2)地域・産業振興事業 ■アイヌ文化情報発信事業 ・展示会入場者数 (現 状 値)令和4年度 165 人/年間 (中間目標)令和6年度 — (最終目標)令和8年度 500 人/年間

	(3)コミュニティ活動支援事業 ■アイヌ文化拠点空間整備事業 ・多機能型交流施設利用者数 (現 状 値)千住生活館 703 人/年間 ※令和2年度実績値 蝦夷文化考古館 736 人/年間 ※令和2年度実績値 (中間目標)令和6年度 ー (最終目標)令和8年度 1200 人/年間 ■アイヌ文化学習推進事業 ・公営塾参加者数 (現 状 値)令和4年度 ー/年間 (中間目標)令和6年度 20 人/年間 (最終目標)令和8年度 60 人/年間
(3)成果目標の確認方法	各事業に設定しているKPIについて、実績値を公表する。また目標の達成状況等について外部有識者等による検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地 域 の 概 要	
(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題	幕別町の白人(アイヌ語地名:チロツト)出身のアイヌであり、のちにコタンにおける教育や農業等の指導者となる故吉田菊太郎(1896 年～1965 年)は、早くからアイヌ民族の生活や社会的地位の向上、そしてアイヌ文化の保存のため、本町のみならず十勝地方、全道へと範囲を広げて活動、1959 年には「アイヌ文化を正しい姿で後世に残す」ことを目的として蝦夷文化考古館を建設した。同館は道内に数軒しかないアイヌ民族が建てた資料館の一つで、それ自体が貴重な歴史的建造物であるとともに、近現代のアイヌ民族の歴史を紐解くことができる貴重な資料が多数展示・収蔵されており、本町におけるアイヌ文化の継承や情報発信の拠点となっている。 吉田氏の精神を引き継ぎ、現代の幕別アイヌ協会やマクンベツアイヌ文化伝承保存会は、様々な活動を積極的に取り組んでいる。アイヌ民族が古くから有用植物として利用してきたガマの葉や菱の実の採集を毎年行い、幕末の十勝地方の産物であったものの近年作製する技術が途絶えていたアットウシの製作(復興)にも取り組んでいる。また、児童や町民に向けた伝統料理作りや刺繍体験等、アイヌ文化の普及事業を実施している。 このように、本町には協会や保存会の活動により、アイヌの歴史を学ぶ場や伝統文化を体験する機会が一定程度はあるものの、蝦夷文化考古館は老朽化が著しく、①建物と収蔵資料の保存修復、②適切な環境下における資料の展示と収蔵、③収蔵資料の調査研究とその成果の情報発信(わかりやすい展示の作製及び行事の開催)が急務となっており、さらに、協会及び保存会員の高齢化や活動拠点となっている千住生活館の老朽化によって、アイヌ文化等の担い手の育成や日常的な利用に支障をきたしている。また、本町におけるアイヌの歴史・文化についての情報発信や学校教育との連携、子ども達へのコミュニティ活動の場の提供等はまだまだ十分とは言えないのが現状である。そして、本町だけではなくアイヌ民族全体として、曾祖父母あるいは祖父母の世代でアイヌの伝統的な生活様式や言語、文化の継承が途絶えた家系では、「民族的な文化を継承していない。アイヌ語も話せない。」という意識を持つ若い人々が数多くおり、アイヌ文化等の次世代へ承継が大きな課題となっている。 本町は、これまでアイヌであることを積極的には名乗っていない方々を含め、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を目指し、上記にあげた様々な課題を町民とともに解決するため、アイヌ施策を積極的に推進する必要がある。

(2)施設等の管理 運営体制	幕別町千住生活館及び幕別町蝦夷文化考古館は幕別町が管理している。
(3)アイヌ関係団 体及び地域住民 の協力体制	幕別アイヌ協会及びマクンベツアイヌ文化伝承保存会の協力、同意を得て実施する事業である。

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	66,900,000	422,722,000	0	△ 355,822,000
都道府県負担額	0	0	0	0
市町村負担額	16,726,000	105,681,000	0	△ 88,955,000
民間団体負担額	0	0	0	0
補助対象外経費	1,615,000	998,638,000	0	△ 997,023,000
計	85,241,000	1,527,041,000	0	△ 1,441,800,000

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	7,094,000	10,205,000	0	△ 3,111,000
旅費	783,000	336,000	447,000	0
報償費	1,898,000	816,000	1,082,000	0
需用費	194,000	170,000	24,000	0
借上料	0	0	0	0
委託料	3,797,000	8,783,000	0	△ 4,986,000
備品購入費	46,000	0	46,000	0
原材料費	376,000	100,000	276,000	0
工事費	0	0	0	0
地域・産業振興事業	4,112,000	1,078,000	3,034,000	0
旅費	232,000	311,000	0	△ 79,000
報償費	0	0	0	0
需用費	50,000	10,000	40,000	0
印刷製本費	291,000	410,000	0	△ 119,000
委託料	3,489,000	297,000	3,192,000	0
備品購入費	0	0	0	0
原材料費	50,000	50,000	0	0
コミュニティ活動支援事業	74,035,000	1,515,758,000	0	△ 1,441,723,000
旅費	102,000	6,000	96,000	0
報償費	64,000	946,000	0	△ 882,000
需用費	10,000	10,000	0	0
印刷製本費	89,000	0	89,000	0
委託料	7,041,000	26,758,000	0	△ 19,717,000
備品購入費	0	2,521,000	0	△ 2,521,000
原材料費	0	0	0	0
手数料	0	537,000	0	△ 537,000
通信費	0	0	0	0
工事費	66,729,000	1,484,963,000	0	△ 1,418,234,000
負担金	0	17,000	0	△ 17,000
合 計	85,241,000	1,527,041,000	0	△ 1,441,800,000
旅費	1,117,000	653,000	464,000	0
報償費	1,962,000	1,762,000	200,000	0
需用費	254,000	190,000	64,000	0
印刷製本費	380,000	410,000	0	△ 30,000
借上料	0	0	0	0
委託料	14,327,000	35,838,000	0	△ 21,511,000
備品購入費	46,000	2,521,000	0	△ 2,475,000
原材料費	426,000	150,000	276,000	0
手数料	0	537,000	0	△ 537,000
通信費	0	0	0	0
工事費	66,729,000	1,484,963,000	0	△ 1,418,234,000
負担金	0	17,000	0	△ 17,000